

第2回 日中韓 医史学会 合同シンポジウム

樂善堂 二堂 樂善堂

補養丸
はやくぐらん
精根を補く元氣を養ふの良薬なり性質の弱き人々病後
一坐無病あり長命を享くこと受合なり

鎮溜飲
ちんりゅういん
胸膈を開き脾胃を健く食物の
折々苦れ水を吐きあぐり

穩通丸
おんつうがん
胸膈を開き脾胃を健く食物の
忽ち毒を下し逆上を引下げ腹中を掃除し
氣鬱を開き熱を醒し神の如

御目薬 精錡水
東京銀座二町目 本家 岸田吟香

越境する伝統、飛翔する文化 漢字文化圏の医史

2010年6月11日(金)9:40~16:40

会場/茨城大学大学会館(茨苑会館)2階 主催/日本医史学会 共催/茨城大学・韓国医史学会・中華医学会医史学分会
助成/日中医学協会・福武学術文化振興財団・内藤記念科学振興財団 後援/日本東洋医学会 代表/茨城大学人文学部 真柳 誠 E-mail/makoto@mx.ibaraki.ac.jp

